

令和4年度ふるさと納税寄附金活用事業について

皆様からの温かいご支援により、令和4年度の函館市ふるさと納税寄附金は、合計で6万6,872件,11億9,733万7,000円となりました。お寄せいただいた寄附金は、それぞれお申込時にご指定いただきました使い道のとおり、次の項目ごとに大切に活用させていただきました。

函館市全体のために 7億2,636万1,000円

函館市の魅力を更に高め、活力にあふれ、豊かで、未来に夢と希望を持てる街づくりを目指し、令和4年度の函館市の各種事業に大切に活用させていただきました。

子どもたちの未来のために 2億5,289万円

学力向上対策など質の高い教育環境の提供のために活用しました。

学力向上非常勤講師配置事業費

少人数指導等を実施できない学校への非常勤講師の配置や、免許外教科担任が指導を行う学校への免許所有者の配置などにより、専門的で質の高い授業の実施に繋がっています。



学級運営改善非常勤講師配置事業費

児童の学習指導や生徒指導などの補助的な業務を行うほか、学校の実態把握を通して指導助言を行い、学習環境の整備や学級運営の早期の正常化を図っています。

外国語指導助手関係経費

グローバル社会に対応できる人材を育成するため、市立幼稚園・小・中・義務教育学校・高等学校において、ネイティブスピーカーと日本人教師によるティーム・ティーチングを行い、外国語によるコミュニケーション能力の育成など英語教育の充実に繋がっています。



特別支援教育支援員関係経費

市立小中学校等に在籍する発達障がい等の教育的支援が必要な児童生徒に対して、学校における日常生活上の介助や、学習支援を行うための特別支援教育支援員を配置し、特別支援教育の充実に繋がっています。

アフタースクール運営交付金

函館市内の小中学校に、放課後や長期休業中に児童の学習支援を行うアフタースクールを設置し、地域人材を活用して、学習習慣の定着と主体的な学習態度の形成を目指す取り組みを行い、学力の一層の向上を図っています。



学校ICT化支援関係経費

学校ICTサポートセンターを設置し、ICTサポーターによる市立学校への定期訪問を実施することで、学校内でICT支援ができる教員の育成を行うとともに、アカウントや端末の故障等の運用支援も含め、学校が自立してICTを活用し、最大限の教育的効果が得られるよう運営支援体制の構築を行っています。



教育用コンピュータ運用経費

市内小中学校全児童生徒に学習者用コンピュータとしてタブレット端末を整備し、子どもたちの情報活用能力の育成や、情報通信技術を効果的に活用した授業を実施するほか、市立函館高等学校にコンピュータ教室を整備し、コンピュータを中心に使用する必修科目「情報」等での活用により、学習効果の充実に繋がっています。



郷土学習推進費

市立小学校3年生の児童が、「縄文に触れる学習」として、世界遺産に登録された縄文遺跡や国宝の土偶などの遺物を実際に見学し学習する機会を創出し、自分たちの住む地域にある遺跡の重要性や縄文文化への関心を高め、郷土学習の推進や郷土愛の醸成を図っています。

コール教室運用経費

市立函館高等学校にコンピュータ援助による語学教育を行うシステムとしてコール教室を整備し、生徒個々の理解に応じたきめ細かい指導により、学習効果の充実に繋がっています。

美しい景観を守るために 1億258万1,000円

歴史的建造物の保全や街並みを美しく保ち、観光都市函館の魅力を将来に引き継ぐために活用しました。

観光施設維持管理費

観光施設と景観演出のための設備の維持管理や、観光地の安全対策を行い、国際観光都市函館の美しい景観や観光名所の魅力の向上に繋がっています。

函館駅前・西部地区花いっぱい業務委託料

色彩の豊かな草花による美しい街並みを創出することで、異国情緒あふれる建物が往時の面影をとどめる函館の景観と相まって、観光客の撮影スポットとしても人気を博しており、国際観光都市「函館」のイメージアップに大いに繋がっています。

緑樹帯等管理業務委託料

公園や緑地等の維持管理をするほか、市民記念植樹や沿道花いっぱい運動等の緑化普及事業を行い、都市の景観を維持するとともに、地域の緑の保全・創出に繋がっています。

歴史的建造物保全調査事業費

歴史的建造物を適正に維持するために必要な老朽度調査の実施や、所有者に対し適正な維持修繕方法や今後の継承についての助言を行い、歴史的建造物を適切に引き継いでいくための意識啓発や継承支援を通じて函館市の歴史ある美しい町並みの保全に繋がっています。



活気と賑わいのあるまちのために 4,720万8,000円

様々なイベントの開催や、陸海空の交通の要衝としての機能を活かし、交流人口の拡大のために活用しました。

中心市街地賑わい事業費

中心市街地の重要エリアの一つである本町・五稜郭・梁川地区で、地域の核となる商業施設や商店街等と連携し、地下歩道などの公共空間を有効活用する賑わい事業「五稜郭まちなかフェスティバル」を実施し、地域の魅力を発信し、賑わいの創出、ひいては地域経済の活性化を図っています。

函館食ポータルサイト関係経費

地域の食に関する様々な情報を把握し、ポータルサイトに集約して、効果的な情報発信を行い、観光客や市民、事業者に対し、広くPRすることで、函館の食の魅力向上を図っています。

食の魅力発信事業費

地域の魚介類や農産品、地酒やワインなどを活用した食の魅力を発信し、地域資源を活用したグルメや地域ブランドの消費拡大、認知度向上に寄与する事業・イベントを実施することで、函館の食の魅力向上を図っています。

函館スイーツブランド化等推進事業費

函館スイーツを活用したイベントやSNS等の情報発信を実施することにより、函館スイーツを観光資源とした函館圏の活性化に向けて、「函館スイーツ」ブランドを確立し、「夜景」、「イカ」に続く新たなまちの魅力を生み出し・発信するとともに、函館スイーツの消費拡大・販路拡大を図り、食産業の活性化による地域経済の発展に繋がっています。

未来のIT人材育成推進費

小学生から中学生を対象としたロボットラボラトリを開催したほか、16歳以下の学生を対象にプログラミングコンテストを開催することにより、将来的なIT人材の裾野拡大に繋がっています。

企業誘致活動費

首都圏等での企業訪問や当市の立地環境をPRすることで企業を誘致し、地域における雇用の創出や産業の活性化、さらには定住人口の増加に繋がっています。

函館駅前イルミネーション関係経費

函館駅前広場の賑わい創出や冬季の観光誘客のため、12月1日から翌年の2月28日までの間、道南杉のフレームや樹木等にイルミネーションを設置して幻想的な光の空間を演出し、地域の賑わい創出に繋がることができました。



福祉の充実のために 3,721万4,000円

高齢者の交流や生涯学習の場の提供、障がい者福祉の向上のために活用しました。

重度身体障害者等タクシー料金助成費

重度身体障がい者などに対して、主に函館交通圏で利用可能なタクシーチケットを年間最大36枚交付し基本料金の9割分を助成することで、外出を支援しています。なお、残りの基本料金1割分については、国の制度によって軽減されます。

介護職員初任者研修受講支援事業費

市内の介護サービス事業所における新たな人材の就労支援と職員の定着ならびにキャリアアップを促進し、介護人材の安定的な確保と質の高いサービス提供を図るため、介護サービス事業所の従業者が『介護職員初任者研修』を受講した際の費用の一部を補助しました。

介護のしごと就労マッチング事業費

介護事業所への就労を希望している潜在介護職員等を対象に、現在の介護保険制度や介護技術に関する講義や演習を行い、参加者の介護の知識とスキルの向上を図り、就労を支援するとともに、就職面接会を行い、人材の確保を促進しました。

生涯学習推進費（高齢者対象大学関係経費など）

高齢者が楽しみながら知識や教養を身に付け、仲間づくりを通して生きがいのある生活を実現し、豊富な社会経験・人生経験を地域社会に活かすための学習の場を提供する高齢者対象大学の開校や多様な学習機会の場と情報を提供する「HAKODATEまなびっと広場」の実施など、生涯学習の推進を図っています。



大間原子力発電所の建設凍結のために 3,108万3,000円

市民の生命や財産を守り、函館市を将来の世代に引き継いでいくため、現在係争中の大間原発の建設差し止め訴訟費用として、基金に積み立てました。

※ 訴訟の審理状況など詳細につきましては、大間原発の建設凍結のための提訴について（総務部災害対策課）のページをご確認ください。
⇒ <http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014031000166/>

